平成２９年度第１回　熊谷市地域公共交通会議　会議録

平成２９年６月１９日（月）
午後　１時３０分～２時３０分
熊谷市役所６階　６０３会議室

１　開　会

２　会長あいさつ

３　議　題

（１）副会長、監事の選任について

・要綱第５条第３項により、会長が下記の通り選任した。

副会長、大久保委員

監事、松田委員、木村委員

（２）平成２８年度事業報告について

・資料１に従い説明。→承認

（３）平成２８年度歳入歳出決算

・資料２に従い説明。

・１負担金の内訳については、

ソシオ流通センター駅整備補助事業負担金

熊谷市　　71,126,608 円

行田市　　71,126,608 円

事務費（熊谷市）193,632 円 である。

（監事から会計監査報告）

→承認

（４）平成２９年度事業計画（案）について

・資料３に従い説明。

・熊谷市地域公共交通網形成計画に従い、ゆうゆうバスの再編等を行いたい。→承認

（５）平成２９年度歳入歳出予算（案）

・資料４に従い説明。

・平成２９年度予算については、事業費の計上はない。→承認

（６）生活交通確保維持改善計画（案）の策定について

・資料５に従い説明。

・ほたる号が国の補助金を申請するにあたり、目標数値を設定した計画が必要であり、その計画には交通会議の承認が必要となるもの。

・**質問**：８ページ、満足度の目標について、どのように定めたのか。５８％は低いと感じる。

・**回答**：交通会議の中で議論し、設定したものである。

→承認

（７）ゆうゆうバス路線の見直しにかかる方向性（案）について

・資料６に従い説明。

・ゆうゆうバスについては、地域公共交通網形成計画の中で、速達性向上や効率化、循環型から往復型への転換等について検討されているところ。他市との比較によると、所要時間や便間の縮小により、１時間当たりの乗車人数の増が可能と考えられる。

・デマンド交通については、地域公共交通網形成計画の中で、適宜検討とされているところ。バスと比較すると、交通不便地域にきめ細かく対応できるものの、輸送力、コストの点で劣るため、他市の例を見ながら、運行形態、車両、運賃等について検討する。

・今後、上記により案を作成し、交通会議、小委員会で検討する。

・**質問**：デマンド交通の導入については、市民の意見を聴く機会はあったのか。

・**回答**：地域公共交通網形成計画の中で市民アンケート調査を行った。このなかで、公共交通の維持・確保意向について聞いているが、現状の公共交通の維持とより充実が合わせて４６．９％と半数近く、デマンド交通などの確保は２０．０％となっているところである。

・**意見**：デマンド交通については、高齢者ニーズに対応するものとして期待が高いものの、いくつかの特性があるため、地域の状況をよく見極めたうえで導入する必要がある。また、既存の公共交通との役割分担にも配慮する必要がある。アンケート調査については、願望も含まれニーズにつながらないことも考えられるため、慎重な検討を要する。公共交通の継続性の観点から、慎重に検討されたい。

・**質問**：今後、学校の統廃合が視野に入ってくる。スクールバスをどうするのかについても考えていただきたい。

・**回答**：市においては、現在アセットマネジメントの基本方針、基本計画に続き、個別計画を策定しているところ。この中で、検討してまいりた

い。

・**意見**：デマンド交通の導入に当たっては、路線バスとの競合にならないよう、よく検討していただきたい。路線バスの維持は大変に厳しく、バス事業者だけの努力では難しい状況にある。バス事業者、自治体、地域住民が協同して守っていくものであり、県南等でよい事例があるので、参考にしていただきたい。

・**意見**：バス路線の見直しにしても、デマンド交通の導入にしても、成果の物差しが必要ではないか。要望で新規路線を設定したり、新たなバス停を設置したりしても、利用者が少なければ、元に戻すような取り決めが必要である。そうしないと、どんどん長大化、複雑化してしまう。交通会議は、地域公共交通のブレーキ役を果たしたい。

・**意見**：タクシー業界としては、通勤、通学、高齢者の通院・買い物等のニーズに対して、バスを補完するものとして、地域公共交通の中で役割を果たしてまいりたい。

→了承

（８）ゆうゆうバス工事にかかるルート変更の報告について

・資料７に従い説明。

・籠原駅南口付近、さくら号ルートにおいて長期（平成２９年６月１日から平成３０年３月３１日まで）にわたり下水道工事による車両通行止めが行われている。

・交通会議での審議か必要な案件ではあるが、急を要したため、４月２５日付で委員あて照会し、すでにご意見いただいているところ。本日はその報告と説明である。

→了承

４　その他

・特になし。

５　閉　会